



### <ニコニコ委員会>

佐々木委員長

びわ湖八幡RC 安川正樹様→「度々お世話になります」。当クラブより 安藤登会長→「立春大吉春近し、寒いですが体に気をつけてください」。山口篤幹事→「びわ湖八幡RCの安川様、呼日楽巴図君ようこそいらっしゃいました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、安藤志子会員、井上勇会員、伊丹会員、鴨志田会員、北島会員、小塚会員、内藤会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、東会員、大矢会員、尾崎会員、佐藤会員、嶋会員、鈴木会員、玉井会員、寺尾会員、碓井会員、渡邊会員、山崎会員、結城会員、佐々木会員。

### <出席委員会>

安藤志子委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1568回	41*	31	10		75.61%
第1567回	41*	33	8	2	85.37%

\*出席免除会員1

### <ロータリー財団>

北島委員長

大矢会員→「いよいよ後期高齢者に突入しますが気持ちは38歳です」。山崎会員→「運が悪いと思います」。関山会員、中島健児会員、中村会員からも頂きました。

### <米山奨学委員会>

伊丹委員長

佐々木会員、鴨志田会員から頂きました。

### <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	28件	28,000円	728件	819,115円
財団	5件	48,000円	28件	348,000円
パネファクター	0件	0円	2件	172,000円
米山	2件	20,000円	30件	372,000円

### 本日のプログラム

#### <社会奉仕委員会>

嶋副委員長

碓井会員が欠席のため原稿を代読いたします。

中学生に対する「市民救急救命士」講習は学校または団体で申請、受講することによって資格認定証が交付されます。この制度は以前からありましたが、中学生に交付できるのは川崎市だけかもしれませんしRCが支援実施をしているのも当クラブだけかと思われれます。これについての経緯を報告いたします。

平成12年10月1日入会された守田博会員が、麻生区の昼間人口は高齢者と家庭婦人が多く昼間災害に弱い街だ、何か対策をと独りで調査を始めました。

その後、講習を学生に対して実施することにしましたが人形などの資材、各人にテキストとマスク、更には200人の受講生に対して20人の指導員が必要でした。消防署員を派遣する訳にもいかなかったため、指導補助員を集め、ボランティアの養成に尽力しました。そして小塚会員の協力を得て桐光学園の高校生を対象に講習を実施したのが3年後くらいのことです。公立中学校では年間予定の変更ができず、何れの学校でも実施できませんでした。

そして守田会員は平成16年12月6日に自宅にて心筋梗塞による呼吸停止状態となり、病院に搬送されたものの帰らぬ人となりました。しかしながら救急隊員の話によりますと、救急車到着までに奥様が人工呼吸をしていたため血中酸素が残っており、蘇生されていたならば後遺症などはなかったと考えられたそうです。奥様が救急救命の講習を見学されていた結果であり、その後も麻生区内全中学生が「市民救急救命士」を受講すべく訴え続け、最近漸く全校受講が実現しました。

現在は学校と消防署が連携をとって当クラブに意向を確かめてまいりますのでノーと言わないように努めています。災害対策団体が事業として実施できるまで支援していくのが理想だと思います。

